

2021 年 4 月 9 日

2020 年度「多摩地域市民活動公募助成」助成事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人はちふく・ねっと

代表者・役職名 氏名 小澤 邦博

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

ストップ・ザ・家庭内事故！ 健康な暮らしを守る「ひまわり安全プロジェクト」

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期＝法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2007年、福祉住環境コーディネーターの有資格者が、その知識をブラッシュアップする為に研究会を立ち上げ活動を開始したところ、八王子市の福祉課より協働の提案があり2011年5月、法人化に至りました。現在、正会員20名

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

高齢化が進むにつれて家庭内事故の発生件数が大きく増加していますが、それらの事故は当人や家族の知恵や工夫で防げたものも多いようです。基本的な事故回避の方法を高齢者ご本人に直接お届けすることで危険を自覚し、事故防止の意識が高まり事故の減少に繋げて頂く事を目的としています。高齢者世帯を中心に「ひまわり」をシンボルマークにして分かり易く明るいメッセージをお届け致します。パンフレットと一緒にひまわりの種を配布し、それを育成していただく事で事故防止の「ひまわり」のメッセージを思い出していただくように致しました。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

高齢者の家庭内事故は年々増加していますが、その中にはちょっとした知識やアイデアで防げるはずの事故も多く含まれています。そこで私達は「ひ・ま・わ・り」の言葉に乗せて家庭内事故防止のメッセージと種を高齢者等のいる家庭に届ける事にしました。

ひまわりの花を家庭内事故防止のシンボルとして街中に咲かせることで多摩地域に暮らす多くの方に対して事故防止の啓発とともに明るく安全な街づくりを目指しています。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの「効果」 300文字程度まで

【結果】コロナ禍であった為、直接人が集まるミニ講座は3回実施(21人参加)となりましたが、インターネットを利用した ZOOM 講座は4回行うことが出来ました。参加者は子供世代の方も多く34人でした。ワークショップは6人の方が直接参加しましたが ZOOM 配信を2回行い31名の方が参加しました。

【成果】講座の内容を分かりやすく楽しいものにしたので高齢者の方にも、よく理解していただきました。外出がしにくい中、ひまわりを庭やベランダに植えて頂くことで注意喚起と共に花を楽しんで頂きました。

【社会的な変化】今回はコロナ禍という緊迫した状況の中でしたが庭やベランダでのひまわり栽培で明るい気持ちを持って頂くことが出来たと思います。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

【課題】今回はコロナ禍という非常事態であったため講座参加者を多く集めることが出来ませんでした。今後も同じような状態が続くと思われるのでインターネットの利用が増えると思いますが高齢者自身の参加は、なかなか難しいのではないかと思います。高齢者自身が気軽に参加できる方法を改めて考えたいと思います。

【展望】わかり易い講座やひまわりの育成など参加された方には大変好評でした。今後は、ひまわりの種を採種して、それを新たな方に配布するサイクルを作ってゆきたいと考えています。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特に  
なし



